

飯綱杜の家族の生活環境と 住環協性能表示“総合A”と“PHE”

2016年3月17日作成
杜の家族代表 山下恭弘

2015/1/22 積雪1m以上入居25日



2016/3/17 杜の家族 丸1年後



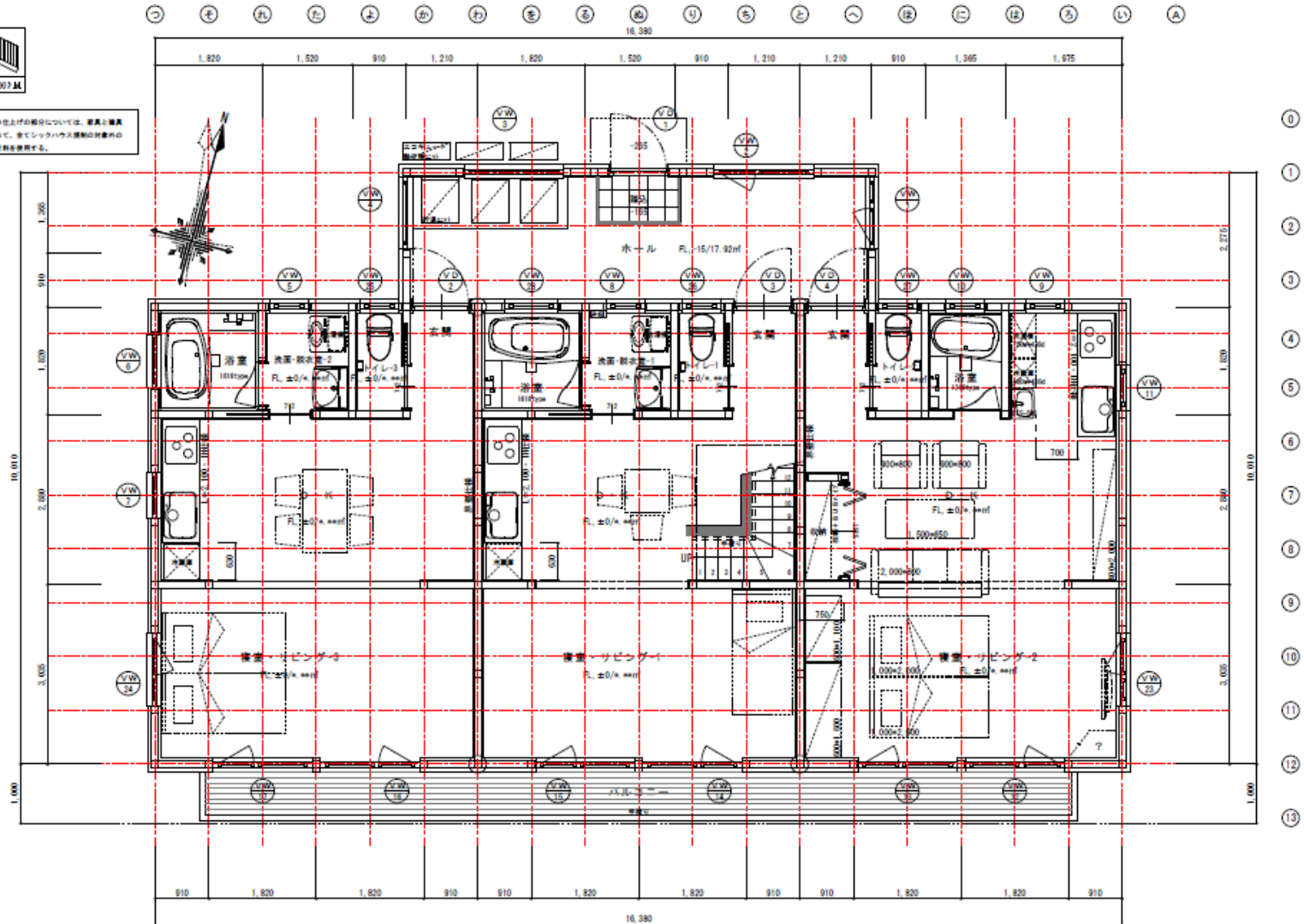
3世帯の構成

- ・A世帯 東側79,78歳夫婦 九州出身
 - ・B世帯 真中ロフト付き 73,72歳夫婦と93歳母
 - ・C世帯 西側 82歳夫婦 東京出身
- ・昨年各戸21°C前後、今期は流量の調整により各戸22.5°C以上keep

杜の家族 1F平面



※ 内装の仕上りの種別については、家具と建具も含めて、全てシックハウス建築制の対象内の建築材料を使用する。

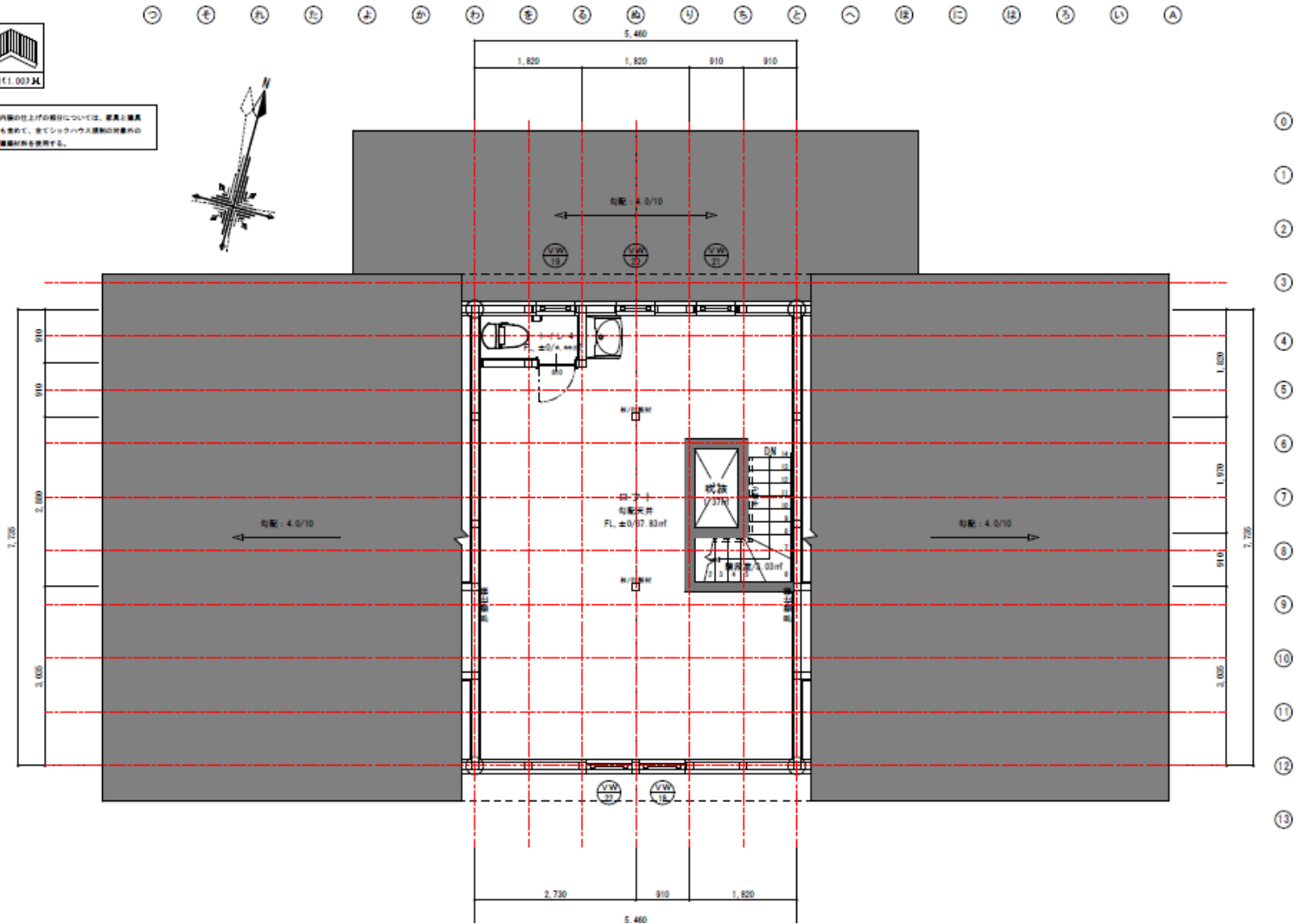


杜の家族 2F平面



建築士 0074

※ 内装の仕上げの範囲については、図面上記載も兼ねて、全てシックハウス建築士の対象内の業種材料を使用する。



信毎新聞取材



- 2014年11月22日に取材を受けた。建築会社が竣工前に披露の日であった。
- 私どもにはまだ入居していない新たな建物にどうして暮していくのか。
- 小さいスペースで暮らせるのか。冬の温かさはどうなのか。隣の声が筒抜けになるのではないかと。予想していたより前室が広くて安心したがどう活用するかなどなど不安と戸惑いの中での取材であった。
- 入居後の反響は予想以上である。各自がこの冬の温かさ、遮音が確保されているなどを聞かれたら満足したと話している。
- 杜の家族はまだ進行形である。

住環協の性能表示

2016年2月22日作成

暖冷房・換気消費 PHE表示	5分割
PHEunder15(・・・kWh/m ²)	7.5未満
PHE15	7.5～22.5 Δ3
PHE30	22.5～40 Δ3.5
PHE50	40～60 Δ4

PHE 表示例 PHE 15₍₂₎ / solar(4.2kW) / 2015date
 17.5kWh/m²(solar発電自己消費含む) solar搭載、エアコン暖冷房の場合

総エネルギー消費 総合A	5分割	併記☆	電気料金換算推定値*1
総合Aunder(・・・kWh/m ²)	37.5未満	☆9	75円/m ² 月相当*2
総合A++	37.5～52.5 Δ3	☆8	100円/m ² 月相当*3
総合A+	52.5～85 Δ6.5	☆7	150円/m ² 月相当*4
総合A	85～125 Δ8	☆6	200円/m ² 月相当*5

*1 電気料金換算at25円/kWh

*2 passive house level 3～4kWsolar発電搭載でplus エネルギー住宅

*2 48kWh/m²年 100m²住宅で年間12万円の家

*3 72kWh/m²年 100m²住宅で年間18万円の家

*4 96kWh/m²年 100m²住宅で年間24万円の家

総合A 表示例 総合A_{PA(2)}++ / solar / 2012data 併記8_{PA} / solar
 48kWh/m²(solar発電自己消費含む) solar搭載、暖房 パネルヒータ の場合

杜の家族 住環協性能表示

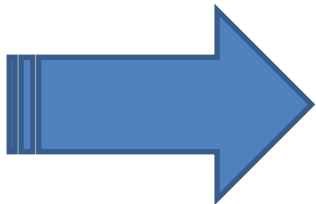
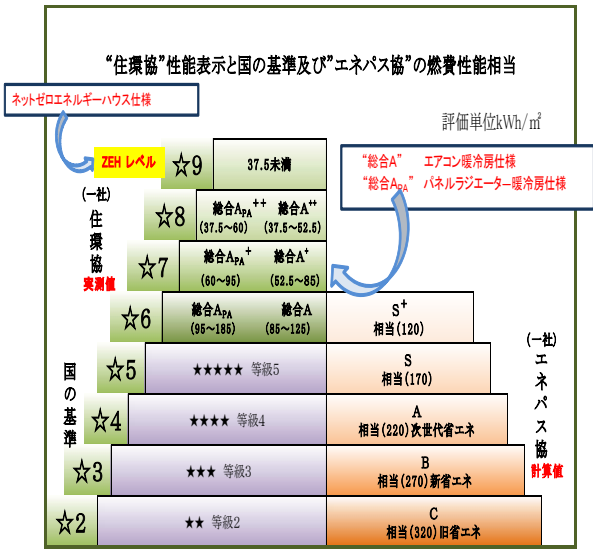
2016年3月時点
暖房時室温各戸22°C以上keep 共有室19.5°Ckeep

1住戸(3世帯7名)の暖房性能評価 "PHE"

計測期間	積算電力 kWh ／年	均等割金 額／年	kWh／m ² 年	PHE評価	備考
2015/1～16/3月	4,028	40582	21.7	PHE30 _{PA(5)}	通年期 4回 の平均
8月、9月を暖房運転停止 3世帯平均暖房費 40,582円／年 延床面積当たり平均 21.7kWh／m ² 年 の暖房評価は PHE15_{PA(1)}					

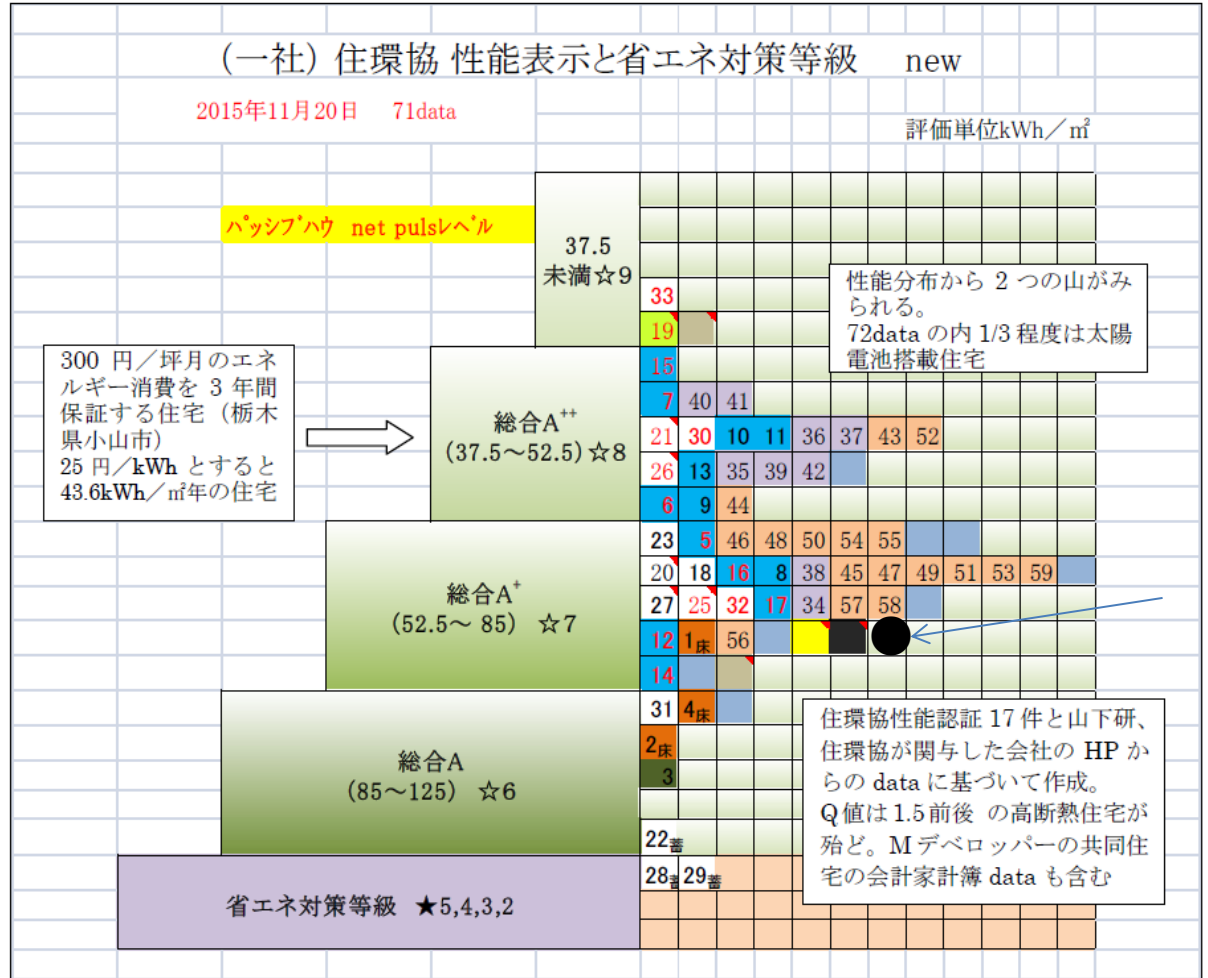
1住戸(3世帯7名)の総エネルギー消費の評価 "総合A"

計測期間	3世帯の平均 積算電力kWh ／年	3世帯の平 均電気料 金／年	kWh／m ²	"総合A"評価	併記 ☆
2015/1～16/3月	13992	130360	75.4	A ⁺ _{PA(2)}	☆7 _{PA}
世帯平均年間の光熱費は130,360円／年 延床面積当たり75.4kWh／m ² 年の 総エネルギー評価は 総合A⁺_{PA(2)} 併記 ☆7_{PA}					



2020年に新築戸建て住宅の建築確認申請には適用義務化となっているが、紫色の国諸省エネルギー等級4, 5を上回る住宅ができています。

杜の家族は、総合A⁺_{PA(2)} 併記☆7_{PA}に収まる (図中● ←)



飯綱でこれから起こる事

- 海拔1200mの飯綱高原に長く住み続けると家の価値はゼロ、土地だけで評価される。高齢になって都市内に移るか介護施設に移るにはそれなりに余裕がないと実現しない不安。
- 息子、娘、孫と2世代、3世代で飯綱に住まうことが理想としても現状を維持するような環境は、都会に比べて多くないのが現状。
- 一世代が住む場所(高齢になり動けなくなると飯綱を去る)でいいのか。
- 飯綱に住まう可能性のない親族に自動的に相続されることでいいのかだろうか。
- 飯綱に住み続けるとは、他人も移り住む環境にする意識を持つ。親族への財産相続こだわらない。住む人は、自分らの環境を選ぶ。
- そのうえ協調して助け合いながら暮らして人生を全うする仕組みの構築を模索する。

コレクティブハウスを考える

- 限定株主方式のコレクティブハウス（共生住宅）を建築して、自分の家の賃貸などをして共生する。さらにdayサービス施設など誘致、雇用の創出

3世代も株売買で代わっている事例がある・・・

何よりも暖かい空間の実現

コレクティブハウスとして

現在、順調に進行中

2016年3月